



軽妙なトークで盛り上げる永井さん

大きな声で歌い、みなぎる元気

出前サロンコンサート『みんなで歌おう』5

みんなで声を出して歌うことで、元気になってもらいたいと、ホールと共に歩む会(木島泰会長)が、3月16日、町公舎で出前サロンコンサートを開きました。

日ごろは文化センターを会場に行っているサロンコンサートを、もっと多くの人に歌に触れてもらいたいと、地域に出かけるようになって5回目を迎えます。

今回は、根雨2区ふれあいサロンと共催。2区住民のほか、多くの人が集まり、9年前に米子市で『うたごえ喫茶』を復活させた永



歌を楽しむ参加者

井達也さんを招いて、軽やかなギターに合わせて全員で大きな声で歌を歌いました。

永井さんは「背筋を伸ばして笑顔で歌いましょう。歌うことは健康によいですよ」と話し、参加者らは「この曲にはこんな思い出があるの」など思い出を語ったり、「キーが高いわぁ」と弾む笑顔を見せました。

また、参加者らは好きな歌をリクエストし、外の肌寒さも吹き飛ばす熱気で楽しめました。



息の合った演奏で会場を魅了する

感謝の気持ちを込めて心に響く演奏を披露

日野中学校吹奏楽部「桜薫るコンサート」

日野中学校吹奏楽部が、日ごろの地域の人たちや保護者の応援に感謝の気持ちを込め、3月22日、「桜薫るコンサート」を町文化センターで開き、多くの町民、家族が見守る中、生徒たちが見事な演奏を披露しました。

このコンサートは、卒業を迎えた3年生の最後のステージとして毎年行われています。今回はコーラスを含め12曲を披露。指揮に合わせて曲調を変えるなど、会場全体に力強い音を響かせました。

昨年度、日野中学校吹奏楽部は、



3年間の練習の成果を披露する3年生

全日本吹奏楽コンクール県大会で金賞を受賞したほか、アンサンブルコンテストで中国大会に出場するなど活躍しました。

コンサートは進行を生徒が行い、終始和やかな雰囲気には包まれ、3年生は「3年間、吹奏楽が楽しかった」「この日を迎え、感謝の気持ちでいっぱい」と、目を潤ませながら3年間を振り返りました。

会場からは、1曲ごとに温かく大きな拍手が送られ、今後の活躍を期待しました。



笑顔があふれ、3,000人突破

黒坂・おしゃべりカフェ



西古さん（中央）から花束を受け取る恩田さん（右）

ろ、同カフェ代表の西古尚史さんから「恩田さん、来店者3000人目です。記念の花束をお渡しします」と突然声をかけられ、笑顔で花束を受け取りました。

恩田さんは「都合の良い日に寄っています。ここに来るとホッとします。私が3000人目なんて驚いた」と話し、「このコーヒーはおいしいよ」と笑顔。

西古代表は「冬場も変わらず、1日25人ほど訪れてくださいました。楽しみにしてもらっている」と、振り返りました。

この日も開店時間になると、常連をはじめ、看板を見て訪れた人が、おいしいコーヒーを飲みながらおしゃべりを楽しみ、ホッとするひとときを過ごし、「ごちそうさ〜ん」「また来るけん」と笑顔でカフェを後にしました。

店内には季節の花が飾られ、近所の皆さんが作った作品が展示されています。ぜひお立ち寄りください。

黒坂地区の皆さんに元気になってもらいたいと、昨年の6月2日に町公民館にオープンしたおしゃべりカフェ。3月20日、開店後9カ月で来客数が3000人を突破しました。

3000人目となったのは、常連客の恩田記子さん（下菅）。来店し、コーヒーを飲みながら友達とおしゃべりを楽しんでいたとこ

心温まる看板に感激、保護活動の力に

澤田建設（日南町）からオシドリグループに看板寄贈



寄贈された看板を囲む澤田建設とオシドリグループの皆さん

ドとして活躍しているオシドリグループに、3月24日、澤田建設（日南町）から案内看板2枚が贈られました。

これは、澤田建設の地域貢献事業の一つで、黄色の看板にオシドリのつがいの写真と「ようこそおしどりの住む町日野町へ」と黒色で書かれています。

オシドリ観察小屋駐車場で行われた贈呈式には、澤田建設から3人、同グループから5人が出席。同グループの森田順子さんは「大切にに使わせていただきます。立派な看板。グループ一同、これからも力を合わせてオシドリ保護活動に取り組みたい」とお礼を述べました。

同グループ会員らは「観察客の皆さんから、観察小屋への道がわからないと良く聞きます。国道沿いにはのぼり旗もあるが、見にくいよう。今年のシーズン前に、どこに設置するか考えたい」と、喜びました。

毎年11月から翌年の3月末までのオシドリ飛来シーズンに、オシドリ観察小屋でボランティアガイ